

平成 29 年 2 月 10 日

各 位

会社名 マルマン株式会社
代表者名 代表取締役社長 出山 泰弘
(コード番号：7834)
問合せ先 常務執行役員 玄 周容
(TEL：03-3526-9970)

特別損失及び特別利益の計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 9 月期第 1 四半期連結累計期間（平成 28 年 10 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）において、特別損失及び特別利益を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 11 月 14 日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失（貸倒引当金繰入額）の計上について

平成 29 年 1 月 25 日付「訴訟の判決に関するお知らせ」でお知らせしているとおり、平成 26 年 10 月 10 日付で株式会社MAGねっとホールディングス（原告）が当社に対し提起した訴訟の判決の言い渡しがあり、原告の請求が認められ、当社が求めていた原告に対する貸付債権は認容されませんでした。

これに対し、当社は、平成 29 年 2 月 3 日付で、東京高等裁判所に控訴の提起を行いました。本件訴訟が第 1 審の判決どおりに確定した場合に備え、平成 29 年 9 月期第 1 四半期連結及び個別決算において、当社の原告に対する貸付債権及び未収利息の全額に係る貸倒引当金繰入額として、211 百万円を特別損失に計上いたします。

2. 特別利益（関係会社株式売却益）の計上について

平成 28 年 11 月 30 日付「連結子会社（孫会社）の異動（株式譲渡）に関するお知らせ」でお知らせしたとおり、平成 28 年 12 月 15 日付で連結子会社の株式譲渡を行い、当該株式譲渡により特別利益が発生し、この度、その金額が確定しました。

これにより関係会社株式売却益として、平成 29 年 9 月期第 1 四半期連結決算において、60 百万円を特別利益に計上いたします。

3. 業績予想の修正について

平成 29 年 9 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想値の修正（平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	3,200	50	25	15	0円96銭
実績 (B)	3,250	150	85	△75	△4円56銭
増減額 (B-A)	50	100	60	△90	—
増減率 (%)	1.6%	200.0%	240.0%	—	—
(参考)前期第2四半期実績 (平成28年9月期第2四半期)	3,109	△65	△135	△140	△11円45銭

平成 29 年 9 月期通期連結業績予想値の修正（平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	6,450	200	130	100	6円42銭
今回修正予想 (B)	6,500	290	205	50	2円99銭
増減額 (B-A)	50	90	75	△50	—
増減率 (%)	0.8%	45.0%	57.7%	△50.0%	—
(参考)前期通期実績 (平成28年9月期)	6,506	197	76	74	5円95銭

（注）1株当たり四半期及び当期純利益につきましては、第1四半期連結会計期間における新株予約権の行使に伴う期中平均株式数の変動を反映しております。

修正の理由

売上高につきましては、第1四半期連結累計期間において、健康食品関連事業における禁煙関連商品の「電子パイポ」の売上が好調で、当初の見込みをやや上回る見通しとなりました。

営業利益及び経常利益につきましては、ゴルフ事業における新商品「マジェスティ プレステジオ ナイン」の販売による利益率への効果が大きく表れ、当初の見込みを上回る見通しであります。

親会社株主に帰属する四半期及び当期純利益につきましては、連結子会社（孫会社）の株式譲渡に伴う売却益を特別利益に計上したものの、当社の貸付債権等に係る貸倒引当金繰入額を特別損失に計上した結果、多額の損失が発生し、当初の見込みを下回る見通しとなりました。

以上